

NA 12402

WDC 16055/

自昭和十九年十月十日
至昭和十九年十月十八日

捷號作戰ニ於ケル九七式飛行艇

夜間索敵戦闘詳報

第九飛行艇隊
飛行艇

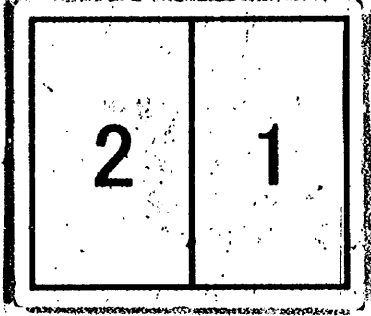
5246



一 形勢
二 任務
三 計畫
 (1) 兵力
 (2) 蒙敵計畫
四 蒙敵經過
 (1) 蒙敵長官
 (2) 蒙敵長官
五 功績
六 參考
七 戰訓新見

1355

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	索引経過
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

四索敵經過 (索敵計畫實施狀況完成) 行動圖 電探作動狀況

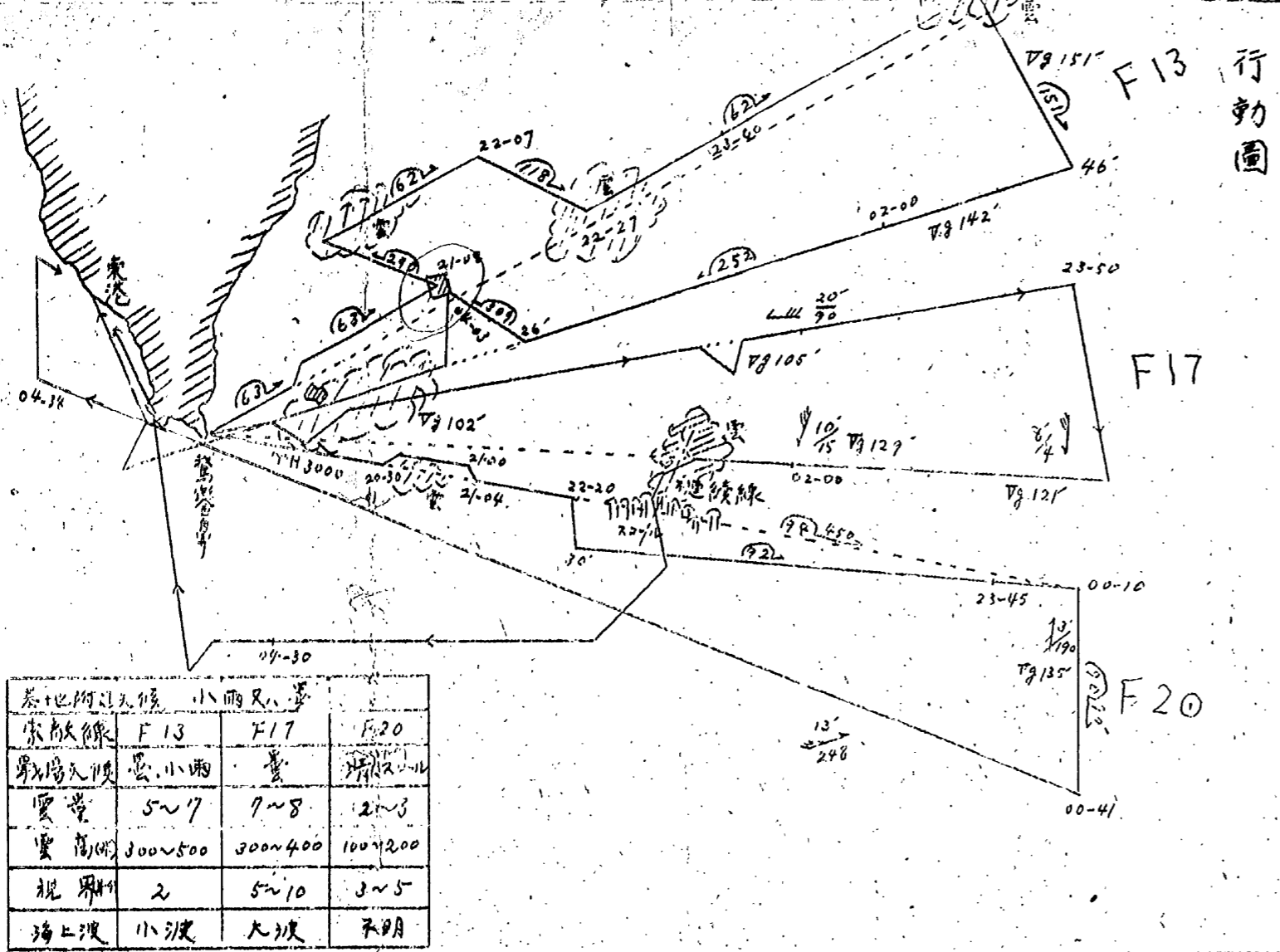
昭和十九年十月十日 夜間索敵

命令 電話ニ依ル要旨如シ

一 基美我海軍艦隊ニ索敵計路ニ依リ八二夜一〇時迄出陣計各四五哩 洲程各九〇哩右折
 二 八二夜一〇時迄出陣計各四五哩 洲程各九〇哩右折
 三 八二夜一〇時迄出陣計各四五哩 洲程各九〇哩右折
 四 八二夜一〇時迄出陣計各四五哩 洲程各九〇哩右折
 五 八二夜一〇時迄出陣計各四五哩 洲程各九〇哩右折
 六 八二夜一〇時迄出陣計各四五哩 洲程各九〇哩右折

F20	F17	F13	線敵索
KEA88	KEA83	KEA50	機長
小林虎一 上飛曹 眞鍋 寛	橋尾 一 上飛曹 中島 正一	本多 行 上飛曹 木下 英次郎	探探員
吉田重次 上飛曹 阿部千代吉 一飛曹 鈴木 武男 塩崎幸市	松本貞弘 上飛曹 松本 貞弘 一飛曹 岩瀬 孝郎	橋本 廣好 中尉 増田 宏夫 一飛曹 秋間 昭三 飛長 山口 春三	偵察員
大串 甲一 一飛曹 増田 斌夫	鈴木 三郎 一飛曹 鈴木 三郎 一飛曹 渡辺 功	勇加藤 吉司 上飛曹 山口 春三 飛長 志田 英次郎	電信員
中島 正吉 一飛曹 増田 斌夫	野村 英次郎 一飛曹 野村 英次郎 一飛曹 大竹 満頭白	合井 孝一 一飛曹 志田 英次郎 一飛曹 金井 金藏	搭致員
100度 1450 哩	82度 450 哩	64度 450 哩	距離

經過概要
 F13 八二夜 東港附近 基美我艦隊一四〇
 F17 二〇八約十村前方ニ敵機動部隊ヲ見キ
 F20 前夜ニ時聞十分敵機
 F17 八二夜 東港附近 基美我艦隊一四〇
 F13 二〇八約十村前方ニ敵機動部隊ヲ見キ
 F20 前夜ニ時聞十分敵機



基地附近天候	小雨又小曇	雲	雲
索敵線	F13	F17	F20
雲量	5~7	7~8	2~3
雲高(呎)	300~500	300~400	100~200
視界	2	5~10	3~5
海上波	小波	大波	天晴

發受信文
 八二夜 航路ヲ索敵中(F13) 〇〇〇〇
 八二夜 航路ヲ索敵中(F17) 〇〇〇〇
 八二夜 航路ヲ索敵中(F20) 〇〇〇〇
 八二夜 航路ヲ索敵中(F13) 〇〇〇〇
 八二夜 航路ヲ索敵中(F17) 〇〇〇〇
 八二夜 航路ヲ索敵中(F20) 〇〇〇〇

昭和19年10月11日(第1群) 索敵線 F19

12日(第2群)

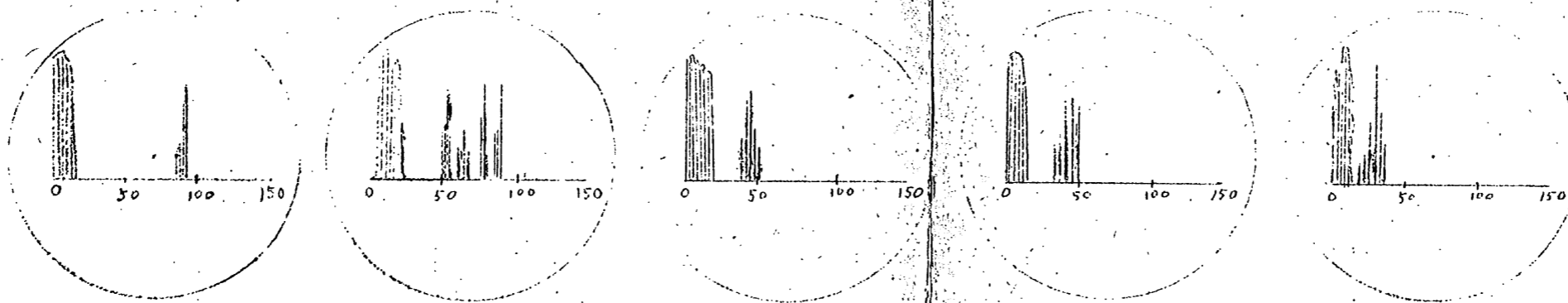
機番 號 KEA50

機長 飛曹長 井手野久行

電探員 上飛曹 福田敏夫

第1群

第2群



記事

第1高壓	6000V	6000V	6000V	6000V	6000V
第2高壓	480V	480V	480V	480V	480V
高周波電流	8 mA	8 mA	8 mA	8 mA	8 mA
交流電壓	98V	98V	98V	100V	100V
空中線	右方	右方	右方	前方	右方
測定高度	3000m	3000m	3000m	4000m	4000m
測定距離	90km	50~90km	5~50km	40km	30km
感度	4	4	5	4	5
測定時刻	2330	2335	2341	2145	0151

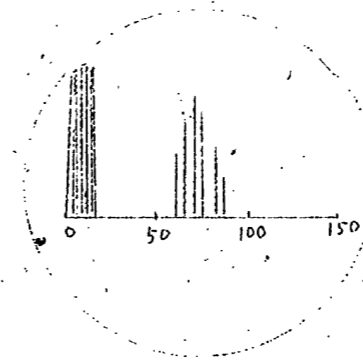
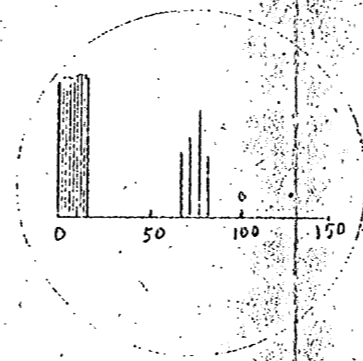
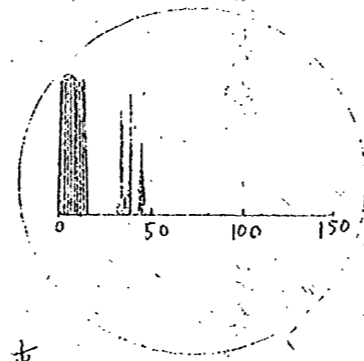
*Information for
and system*

昭和19年10月11日 索敵線 FD-7

機番 機 KEA 83

機長 大尉 山之内 茂美

電探員 上飛曹 真鍋 寛



記事

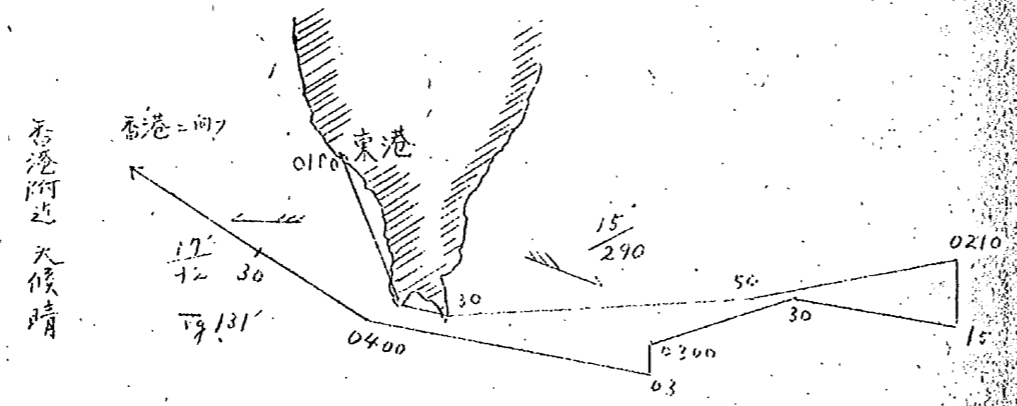
第一高壓	6000V	6500V	6500V
第二高壓	500V	500V	500V
高周波電流	7mA	8.5mA	8.5mA
交流電壓	115V	115V	115V
空中線	前方	左方	左方
測定高度	3500m	3600m	3900m
測定距離	38km	70km	75km
感度	4~5	3~2	3~4
測定時刻	0230	0250	0325

昭和十九年十月十三日 夜間索敵

命令 口達ニ依ル 要旨 咄々如シ
 基 莫 鷺 變 身 昇 索 敵 線 八 五 度 索 敵 線 F 二 八 進 出 距 離 四 五 〇 哩
 測 程 右 折 九 〇 哩

F18	線敵索
KEA95	機
機長	機長
電探員	電探員
操縱員	操縱員
偵察員	偵察員
電信員	電信員
搭積員	搭積員
經過概要	經過概要

行動圖

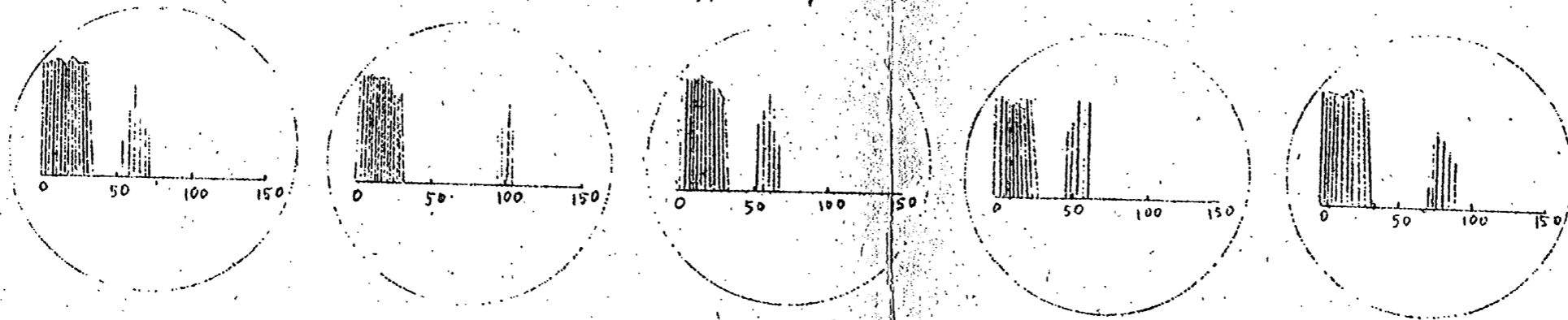


香港附近 天候晴

昭和19年10月15日 索敵線 F18

機番 號 KEA 95
 機長 飛曹長 土井 久夫
 電探員 少尉 小泉 健一
 第二群

第一群



記事

第一高壓	6000V	6000V	6000V	6000V	6000V
第二高壓	550V	550V	550V	550V	550V
高周波電流	8mA	8mA	8mA	8mA	8mA
交流電壓	110V	110V	110V	110V	110V
空中線	九方	九方	九方	九方	前方
測定高度	2500m	2500m	2500m	2500m	2500m
測定距離	60km	100km	50km	50km	70km
感度	3~4	4	3~4	4	2~3
測定時刻	0200	0215	0230		

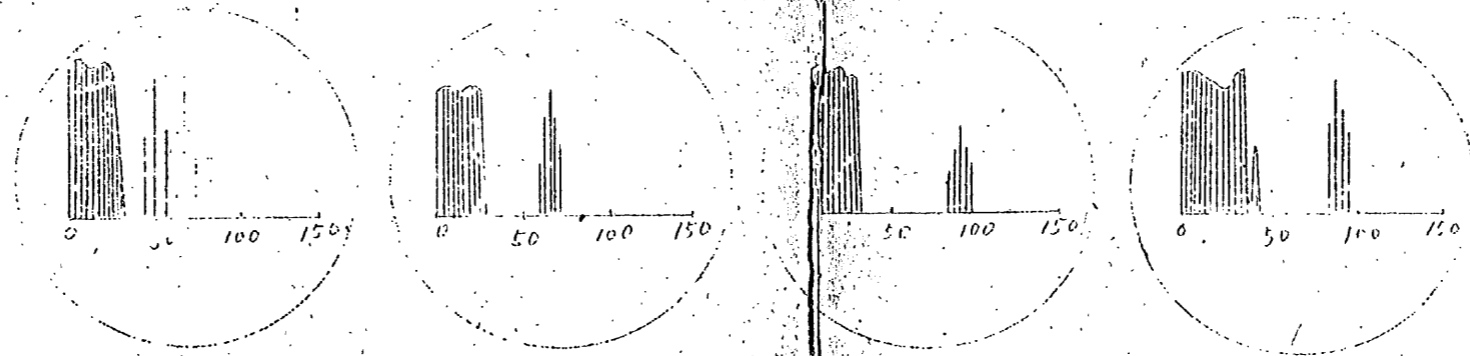
8

1363

昭和19年10月15日 索敵線 F18

機番 機長 電探員
 KEA 95 飛曹長 土井 久夫
 少尉 小泉 忠昌
 上佐 曾 細井 健一

第三群



記事

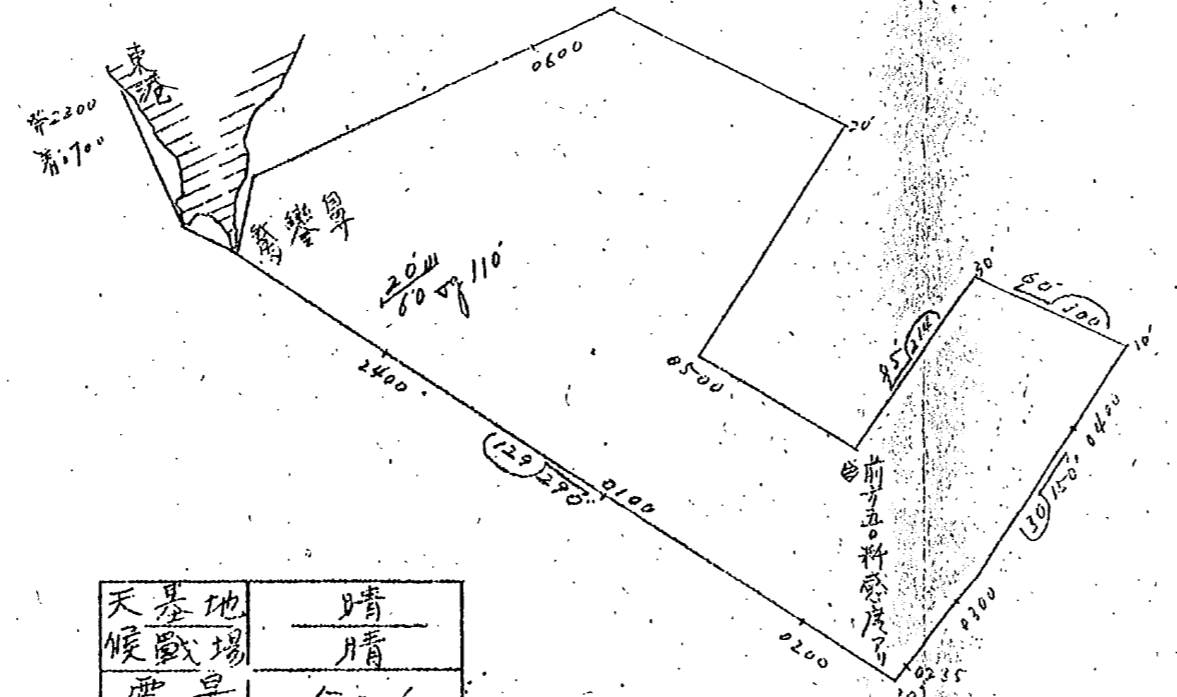
第一高壓	6000V	6000V	6000V	6000V
第二高壓	550V	550V	550V	550V
高周波電流	8mA	8mA	8mA	8mA
交流電壓	110V	110V	110V	110V
空中線	九方	九方	九方	九方
測定高度	2500m	2500m	2500m	2500m
測定距離	50Km	60Km	90Km	80~95Km
感度	///	///	///	///
測定時刻	///	///	///	///

昭和十九年十月十六日 夜間索敵

命令 口達ニ依ル西女首七ノ通リ
 一 基真爲爲鑿鑿自軍
 二 索敵線 一二九度二九〇理、三〇〇度一五〇理、三〇〇度九〇理、二七八度二〇〇理
 三 使用機九七式飛行機一機

KEA 95	機長	偵察員	電信員	搭客員	進出距離
中尉 横尾	少尉 榎	上曹 松本貞弘	上曹 岩瀬	一曹 岩瀬	三〇〇東港附近 予定コース索敵 〇三三〇前方五〇料感度了り 〇七〇〇基地帰着
中尉 横尾	上曹 中島正一	上曹 松本貞弘	上曹 岩瀬	一曹 岩瀬	三〇〇東港附近 予定コース索敵 〇三三〇前方五〇料感度了り 〇七〇〇基地帰着
	安藤富治	岩瀬孝郎	大竹楠須吉		129度 290理

行動圖



天候	晴
雲量	5~6
雲高	500~600米
視界	5-10料
海上波	小波

發受

一六日
 發九五号機 宛九二空東港
 我火柱ヲ認め、地点ヲ告ゴコト
 電探ニ感度ナシ
 位置ニ若干ノ誤差アルヤモ
 知ラズニ三四五

一七日
 我機動部隊ランキモノ探
 知ラズ、地点リス四セヘ
 〇二三五
 附近天候晴 雲量三
 雲高二〇〇 視界三理
 雷雲可能 〇二回
 受ニ敵ニシテモ探知ス
 地点 〇一八〇二五
 〇三四八位置若干ノ誤差
 アルヤモ知ラズ
 (終)

戦況速報 發九〇一空東港 宛 P GF P 2AF P 9EB

一七〇九一五番電
 一六日 夜間電探索敵ニ依ル綜合敵情ヲ通リ
 一 第一群 〇三三五地真リス四セヘ
 二 第二群 〇二五〇地真リス一八
 三 第三群 〇二五〇地真リス一八
 尚三四五地真 工ココヘテ火柱ヲ認めタルモ電探ニ
 感度ナシ不明
 二 敵機動部隊附近天候晴、雲量三
 高度二〇〇附近ニ断層アリ
 三 第三群、位置直ニ若干ノ誤差アルヤモ知ラズ
 (終)

昭和十九年十月十七日

命令 文二〇一九 第六FGB 電令作第七四号

九〇二〇八二七二〇。東港奔七、索敵ヲ實施スベシ F19 F24 進出距離四五〇哩 側程九〇哩

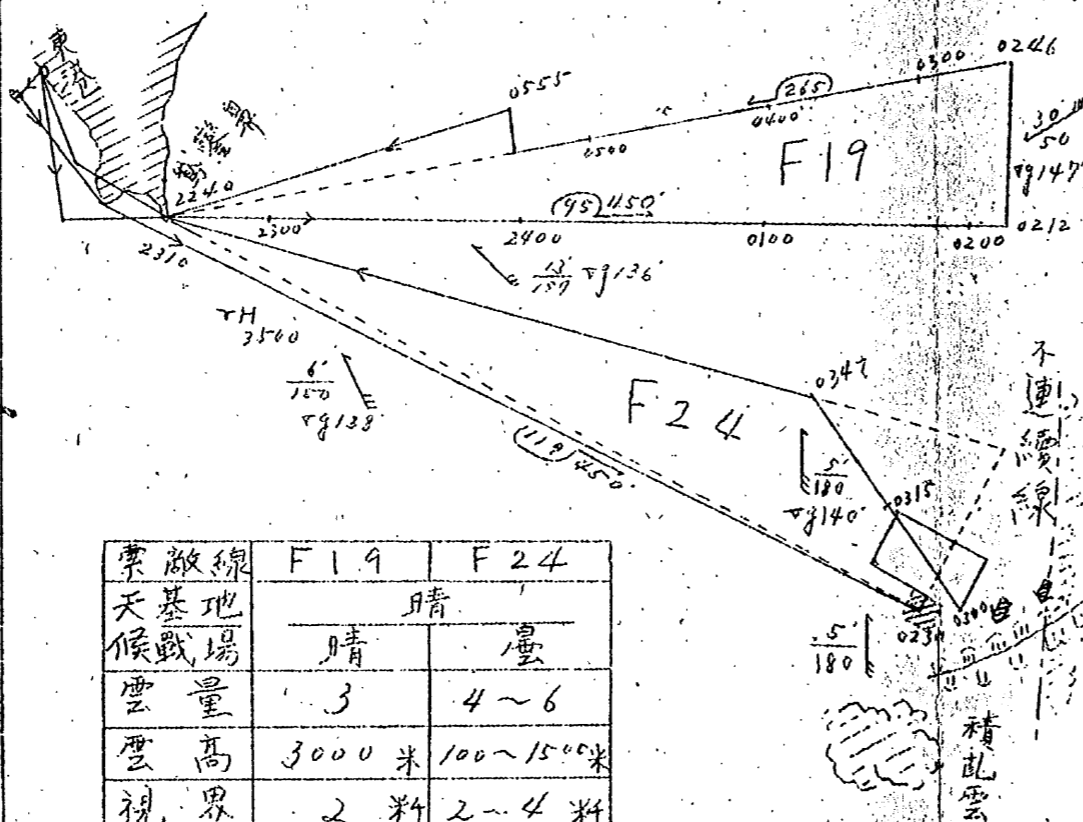
索敵計畫

一、基真、奮、總、全、鼻、索敵線 95°19' 索敵線番号 F19 F24 進出距離四五〇哩 在折九〇哩
 二、使用機九七式飛行機二機
 三、進時刻二二〇〇

1366

F 2 4	F 1 9	線敵
KEA 9 5	KEA 9 0	機
少領 小村 鹿一	香田 四郎	長
上飛曹 真鍋 寛	北崎 道	電探員
上飛曹 阿部 十代吉	川本 茂生	操縦員
上飛曹 吉田 重次	百々 武男	偵察員
上飛曹 塩崎 幸市	平井 勝巳	電信員
上飛曹 大塚 甲子男	小松 千尋	塔整員
上飛曹 増田 誠夫	大村 重則	塔整員
中島 正吉		
119 度	95 度	進出
450 哩	450 哩	距離

行動圖



索敵線	F 1 9	F 2 4
天候	晴	曇
雲量	3	4~6
雲高	3000 米	100~1500 米
視界	2 料	2~4 料
海上波	荒	不明

經過概要
 F一九
 一、東港奔進
 二、基真奔進
 三、第一機針
 四、第二機針
 敵ヲ見テ帰途ニ就ク
 六一〇。基地帰着
 F二四
 一、東港奔進
 二、敵機動部隊ヲ見テ、探知打電、觸接開始
 三、帰途ニ就ク
 七〇。基地帰着

發受
 發九五号機 宛九〇空東港
 敵機動部隊ヲシキモノ探知
 不地真トセ四八

敵電探觸接中
 〇三〇五
 爆雲困難、雷雲可能
 〇三三〇
 敵ヲシキモノ探知ス
 〇四〇〇
 敵ヲシキモノ探知ス
 〇四〇五
 電探觸接ニ依ル敵位置
 地真トシ四二、〇四五
 〇四一五、六、七、位置
 若干、誤差ヲヤセ知レ

戰闘概報
 一八〇七五〇番電
 一、七日夜間電探索敵ヲ得タル敵情在、通り
 一、第一群。二、四八地真トセ四八、反射波ノ中、料ニシテ大
 集団
 一、第二群。〇四〇〇。地真トセ四四
 第三群。〇四〇五。地真トセ四四
 何トモ反射波單條ニシテ單
 艦若クハ小群

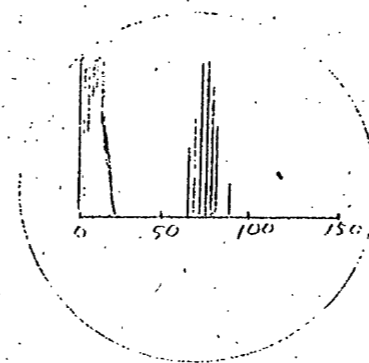
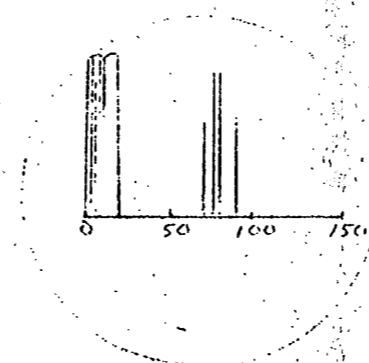
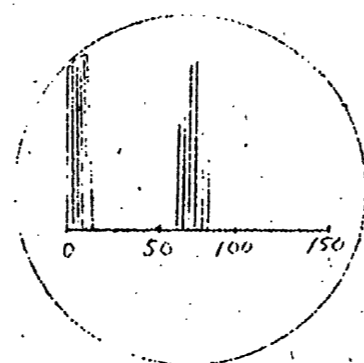
敵附近天候半晴、雲量五、七、雲高八〇〇、三〇〇米、海上ヨリ、
 爆雲困難、雷雲可能、分附近ヲ東西ニ通シ、不連続線アリ、
 以南ハ、終始、雷光ヲ認メ、天候不良
 一、第一群。〇三五五、位置、地真トセ四二、〇四五
 二、第二群。〇四一五、六、七、位置
 三、第三群。〇四一五、六、七、位置
 四、電探觸接ニ依ル敵位置
 地真トシ四二、〇四五
 〇四一五、六、七、位置
 若干、誤差ヲヤセ知レ

昭和19年10月17日 索敵線 F24

機番 號 KEA 95

機長 少尉 小林 鹿一

電探員 上飛曹 眞鍋 寛



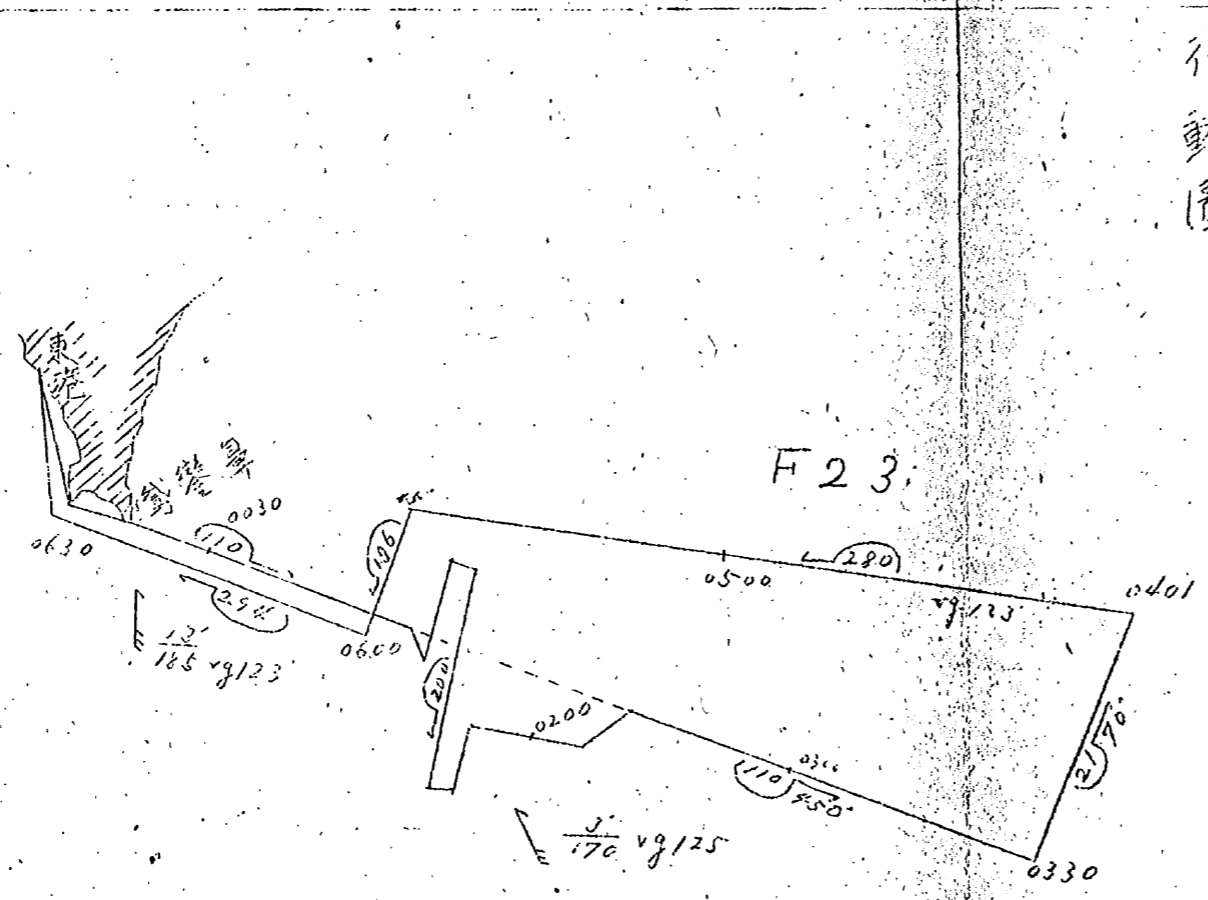
記事

第一高壓	6000V	6000V	6300V
第二高壓	500V	500V	500V
高周波電流	3mA	3mA	3.8mA
交流電壓	100V	100V	120V
空中線	前方	前方	后方
測定高度	3500m	3600m	3650m
測定距離	60km	80km	68km
感度	5~4	5~4	5~4
測定時刻	0230	0332	0345

昭和十九年十月十九日

命令
 一 基點爲變遷昇、口達三依、西安皆在通、
 二 使用機九七式飛行機二機、110° 130° 索敵線番號 F23 F27 進出距離四五〇哩 左折九〇哩
 三 奔進時刻二三〇〇

行動圖



天候	晴
戰場	晴
雲量	2~3
雲高	1000 米
視界	15 新
海上波	小波

戰術速報
 九〇八五番電
 一九日夜間 F23 電探先端到遠時刻 〇三五〇
 進出距離三五哩
 電探終始良好 F27 發動機不良爲索敵實施也
 二天候
 奮發昇引一五〇哩以西曇以東半晴

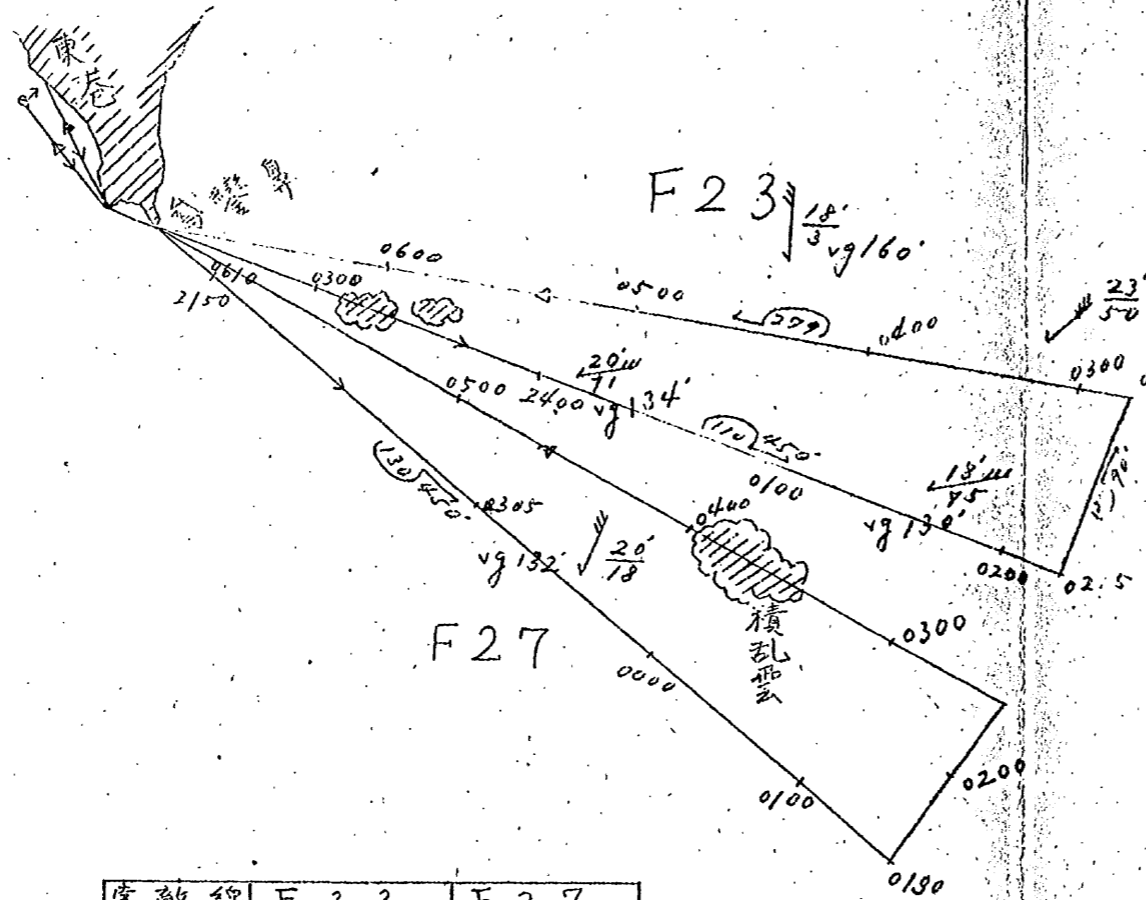
F 2 7 KEA 95	F 2 3 KEA 90 中偵 木田尉 行	線敵 號番機 機 長 電探員 操縱員 偵察員 電信員 格整員	進出 距離	經過概要
	上飛曹 木下英治郎 飛長 橋本好 岸 勇 北藤崇司 志田義典 志田義典 志田義典	上飛曹 柳崎藤太郎 三飛曹 秋間三三 三飛曹 山口春三 一飛曹 全壽全威	110 度 450 哩	三五五東港奔進 〇三三〇才一變針 面〇一才二變針 〇七四五東港着 敵ヲ見ス F二七 發動機不調爲取止

昭和十九年十月二十日

命令
一 基島爲變身鼻 口達=依此要旨
二 使用機九七式飛行機二機 索敵線 110度
三 前進時刻 二二〇〇 索敵線番号 F23 F27 進出距離四五〇哩 在折九〇哩

機長	電探員	標縱員	偵察員	電信員	搭整員	進出距離	經過概要
F27 KEA 95 中尉 横尾一	F23 KEA 50 偵曹長 香田四郎	偵曹長 川本茂生	偵曹長 瀧野繁次	偵曹長 小松千尋	偵曹長 阿部肇二	130度 450哩	三三〇 東港前進 三二五 基島前進 三二〇 前方新雲ニリ之通過 三〇〇 前方新雲ニリ之通過 二五〇 一變針 二二五 一變針 二〇〇 一變針 一七五 東港前進 一五〇 東港前進 敵ヲ見ズ
上曹長 中島正一	偵曹長 稻村一良	偵曹長 百々武男	偵曹長 平井勝巳	偵曹長 大村重則	偵曹長 堀川興吉	110度 450哩	三三〇 東港前進 三二五 基島前進 三二〇 前方新雲ニリ之通過 三〇〇 前方新雲ニリ之通過 二五〇 一變針 二二五 一變針 二〇〇 一變針 一七五 東港前進 一五〇 東港前進 敵ヲ見ズ
上曹長 松本貞弘	偵曹長 岩瀬孝和	偵曹長 大坂八郎	偵曹長 外海拓	偵曹長 野村肇	偵曹長 大竹清須		
上曹長 安藤篤治	偵曹長 岩瀬孝和	偵曹長 大坂八郎	偵曹長 外海拓	偵曹長 野村肇	偵曹長 大竹清須		

行動圖

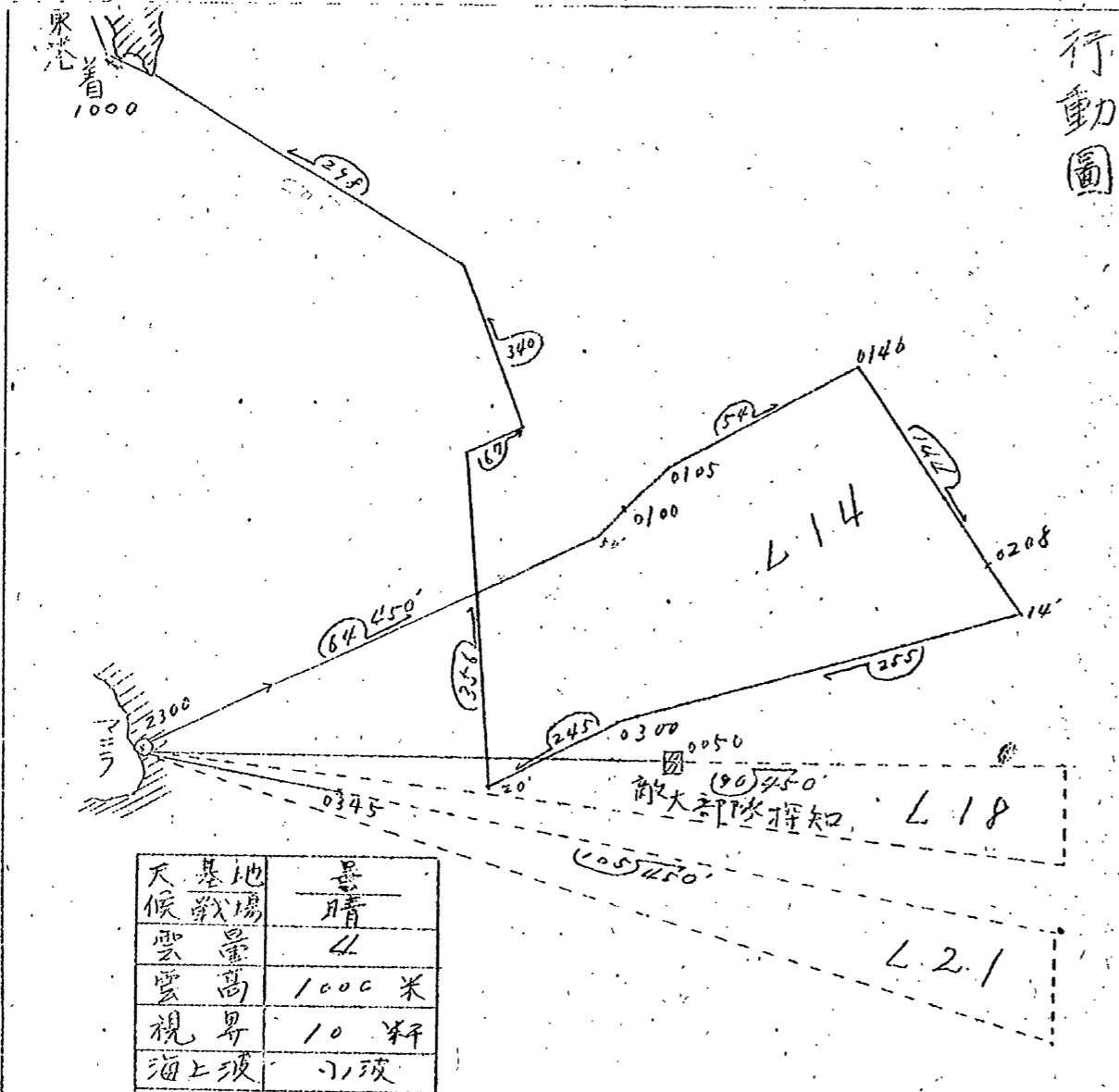


索敵線	F 2 3	F 2 7
天候	晴	晴
雲量	3	4~5
雲高	1500米	500~600米
視界	3 浬	5~10 浬
海上波	荒	小波

戦闘概報
二〇七五〇番電
二十日夜向 F23 F27 電探常敵實施敵ヲ探知ス
進出距離各四五〇哩 先端到達時刻 F23 三五
F27 二一〇
二天候
爲變身鼻ヨリ二面ノ理附近ニ北東ヨリ南西通ズ
不連續線ヲキテノリ 外概不晴
(終)

昭和十九年十月二十三日

命令、六FG B電令作一九号及其訂正(二AFより電話)
 L14(六回度四五。理右折九。理) L18(九。度四五。理右折六。理)
 L21(五度四五。理右折六。理) 基兵マニラ



天候	曇
雲量	4
雲高	1000米
視界	10 軒
海上波	2/3波

行動圖

線敵索	L 14	L 18	L 21
機長	KEA 90 偵 中尉 本多 行	KEA 50 偵 飛曹長 香田四郎	KEA 75 偵 中尉 道口俊夫
電探員	上飛曹 木下英治	北尉 飛曹 稻村一良	上飛曹 森田義寛
操縦員	上飛曹 神崎藤太郎	上飛曹 川本殿生	東島 初
偵察員	二飛曹 秋岡三三	三飛曹 瀧野繁文	高橋 公文
電信員	三飛曹 山口春吉	一飛曹 小松千壽	飛曹 栗外茂次
搭整員	一飛曹 全林金藏	上飛曹 大村重則	同田敏郎
距離	65 度 450 理	90 度 450 理	105 度 450 理

經過概要
 L14
 三三三三基地前進
 〇一〇以後索敵中四軒回轉
 三電探故障(直見上)
 為東港に向
 〇〇東港着
 敵ヲ見ス

發受
 三三三三基地前進
 三三四以後連絡ナシ
 未帰還

發受
 三三三三基地前進
 三三四以後連絡ナシ
 未帰還

三三三三基地前進
 三三四以後連絡ナシ
 未帰還

三三三三基地前進
 三三四以後連絡ナシ
 未帰還

三三三三基地前進
 三三四以後連絡ナシ
 未帰還

昭和十九年十月二十四日

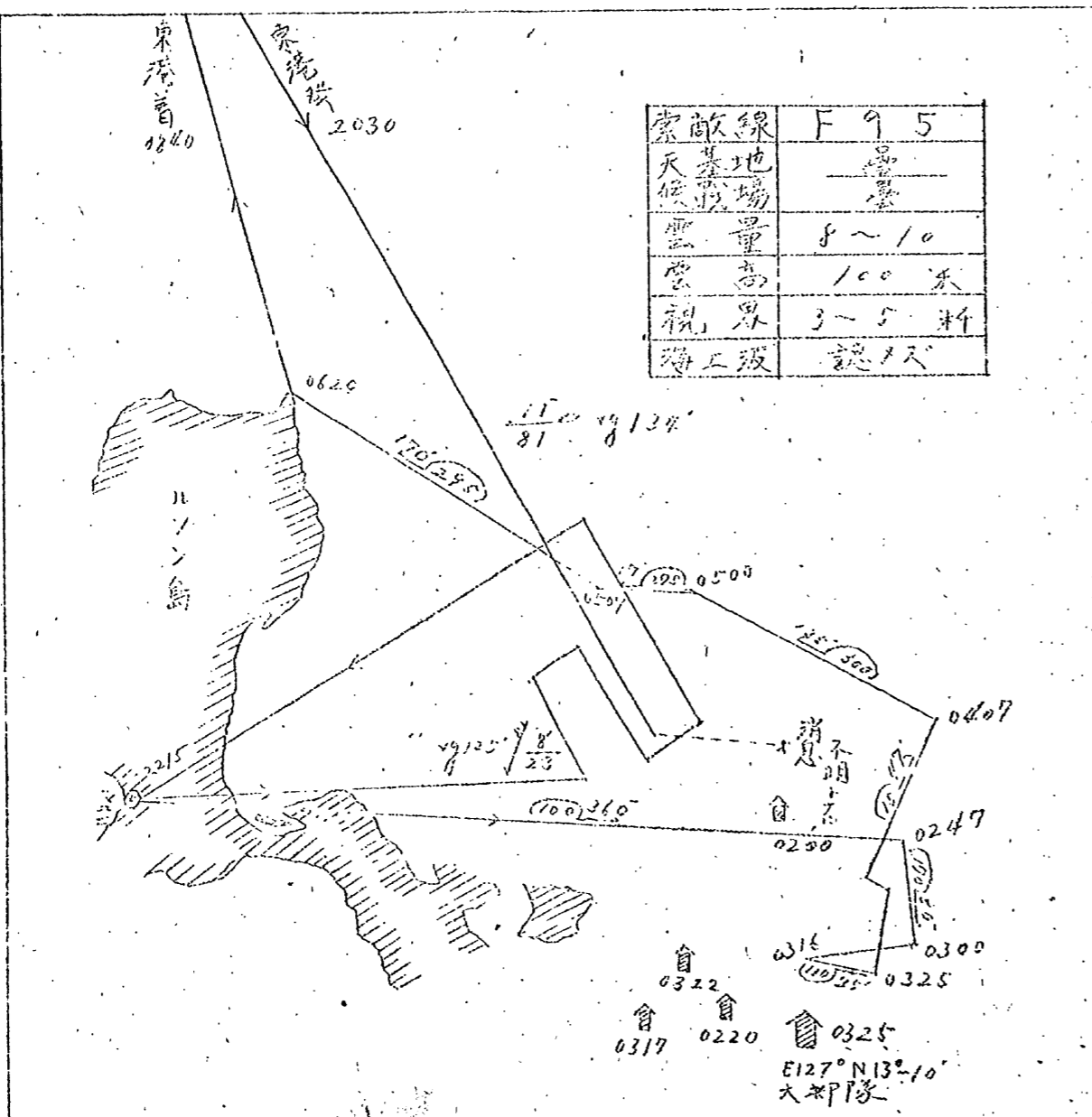
命令 第二航空隊ヨリ電話

東港計 東港計 東港計

東港計 東港計 東港計

機長	電探員	操縦員	偵察員	電信員	整備員	進出距離	備考
KEA 76 山内大尉 大尉 山内大尉 美浦田英雄	KEA 85 横中偵 尾尉 中島正一	KEA 95 小林偵 鹿尉 真鍋實	増田陽生 阿部吉 吉田重次 中川天	北原正幸 増田茂 増田茂 北原正幸	増田茂 増田茂 増田茂 増田茂	90度 300理	八四〇東港着 八五〇東港着 五〇〇五三基地着進 五五五三着 七六号機 二〇三〇東港着進 二〇一〇敵機動部隊探知 末屏還

行動圖

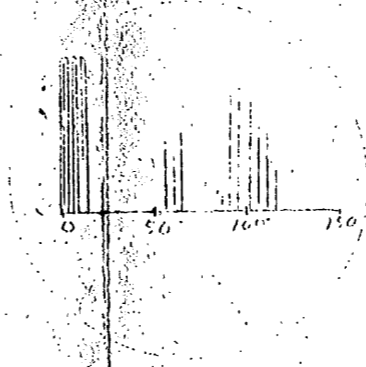
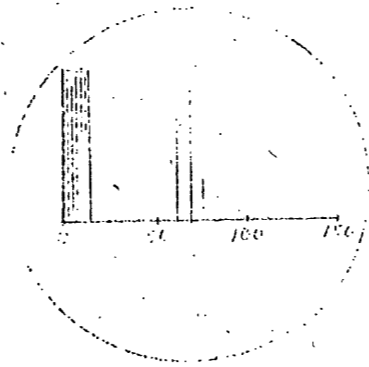


我電探ヨリ敵ヲ探知ス「01エニイ」
電探ヨリ「01エニイ」
ニ敵ニ部隊ヲ探知ス
ス、02ニ
更ニ電探ヨリ敵大
部隊ヲ探知ス
「01エニイ」03ニ
更ニ敵大部隊ヲ
探知ス
「01エニイ」
0350

敵大部隊ヲ探知ス
地味「01エニイ」
大型四隻其他約
二〇隻
0140

昭和19年10月24日 索敵線 L21

機番 號 KEA 95
機 長 少尉 小林 鹿一
電探員 少尉 増野 陽生
塔官 真鍋 竟



第一高壓	6000V	60.00V
第二高壓	500V	500V
高周波電流	4mA	4mA
交流電壓	110V	110V
空中線	右方	右方
測定高度	3900m	4000m
測定距離	75Km	65~115Km
感 度	4	5
測定時刻	0200	0206

昭和十九年十月二十五日

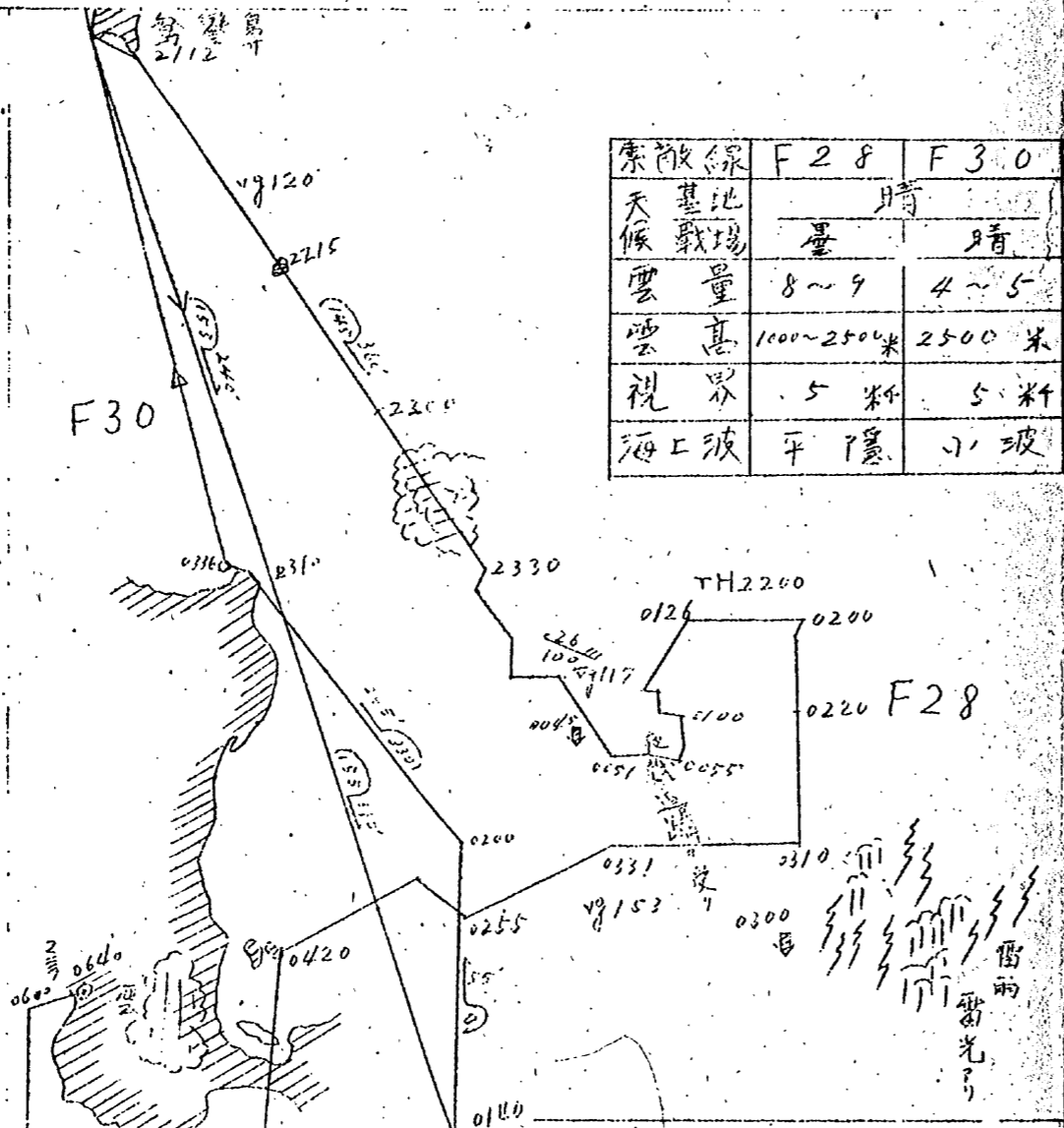
命令
九二五飛行機夜間索敵航路
二番機 F28 一三九度五五〇理、二二一度三三〇理、二番機 F30 一四六度五五〇理、二九五度三三〇理

原敵計画
原敵二機を命ずる、東港を飛越し、避基地トシテ、特機ヲ失スル上、突アリシ後、飛行機隊ハ直後東港ヨリ、登進セシメ、索敵線進出距離等ハ、中ニ在リ、飛行機ハ、研ヨリ直接指令ナル標計ヲ畫カリ

行動圖

F30 KEA 95 加藤 壽池	F28 KEA 90 土井 久夫	隊員 番機
西川 福徳	細井 健一	機長
三飛曹 和野平八郎	三飛曹 西村 勝人	電探員
三飛曹 藤田 真	三飛曹 荒井 宗雄	操縦員
三飛曹 藤田 真	三飛曹 荒井 宗雄	偵察員
三飛曹 藤田 真	三飛曹 荒井 宗雄	電信員
三飛曹 藤田 真	三飛曹 荒井 宗雄	搭整員
155度	550理	進出距離
F30 四東港發進、基五、六發進二二〇 二四〇才一發針 〇二〇才二發針 〇六三才東港發進、看敵ヲ見ス		經過概要 F二八 二四五東港發進、基五、六發進二二〇 〇四五敵味方索敵部隊探知 〇三〇敵味方不明、部隊ヲ探知 〇六四〇キヤビテ基地着

索敵線	F28	F30
天候	晴	晴
雲量	8~9	4~5
雲基	1000~2500米	2500米
視界	5 米	5 米
海上波	平 隠	小 波



發進
九二五飛行機、東港發進、索敵航路、指令ヲ待ツ、二二四〇敵味方不明、大部隊ヲ探知ス
地味不明、大部隊ヲ探知ス
附近、天候晴、雲量五、雲高一〇〇〇、三〇〇
東方南方、雷雨、〇三〇〇
F28才三航路ヲ三〇一度ニ訂正ス

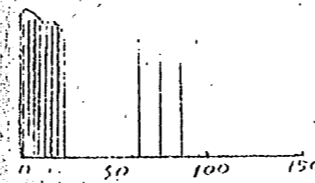
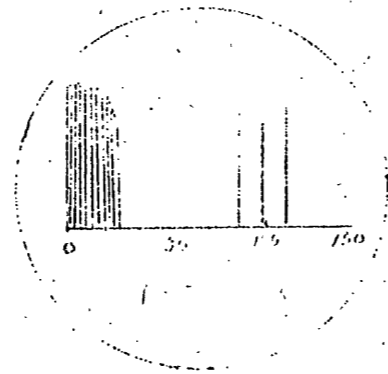
昭和19年10月25日 索敵線 F28

機番 拂 KEA 90

機長 飛曹長 土井 久夫

電探員 少尉 小泉 忠昌

上飛曹 細井 健一



記事

第一高壓	----- 6000V -----	6000V
第二高壓	----- 500V -----	500V
高周波電流	----- 10mA -----	10mA
交流電壓	----- 110V -----	110V
空中線	----- 右方 -----	前方
測定高度	----- 90km -----	85km
測定距離	----- 90~120km -----	65~85km
感 度	----- 4 -----	4
測定時刻	----- 0045 -----	0300

昭和十九年十月二十六日

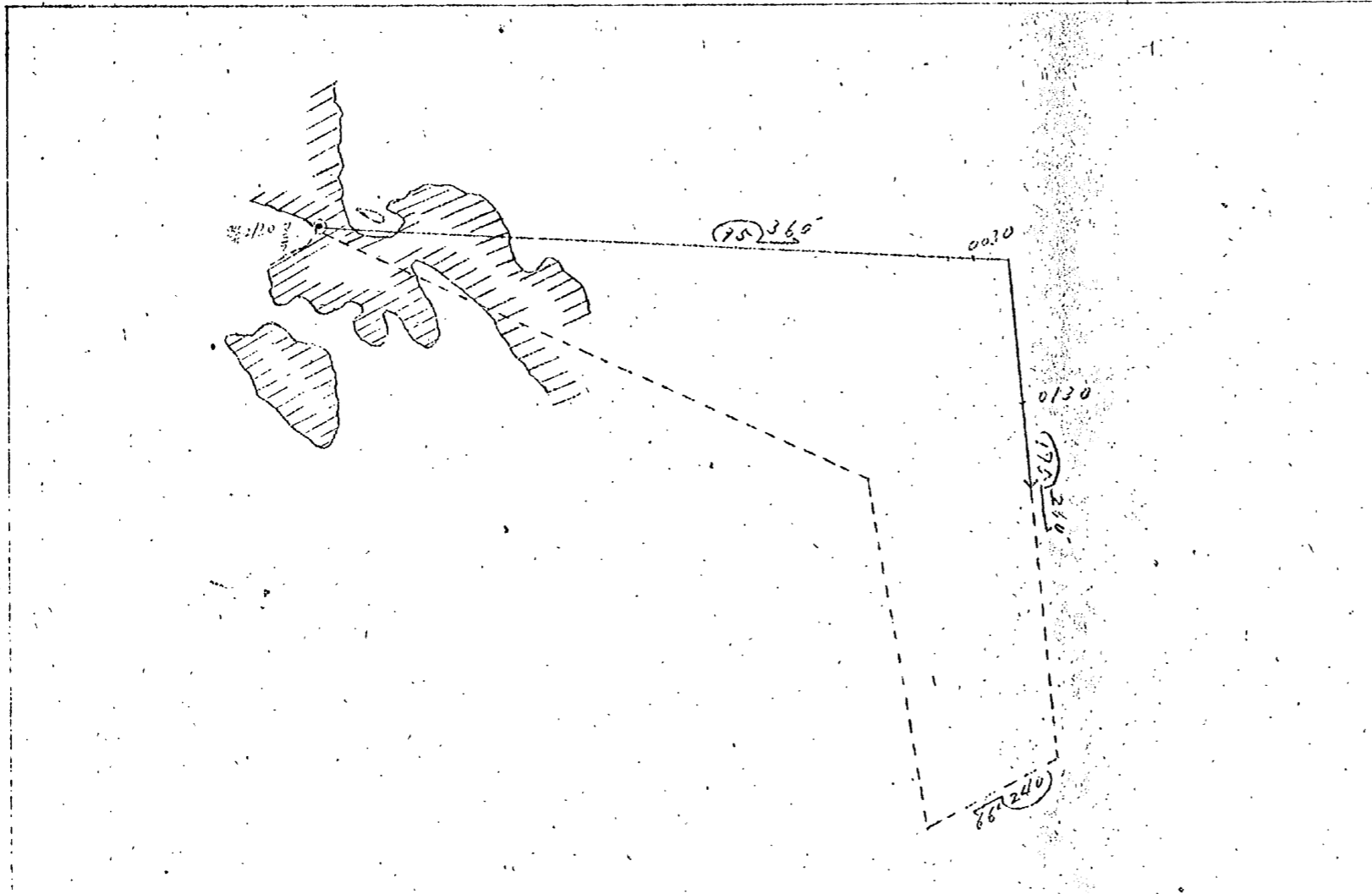
命令 二十六日一六五〇 P/2AF ヲリ電話

基兵 キヤビチ 九五度三六〇理 一七五度二六〇理 二四〇度六〇理

三五五度二三〇理

KEA 90	子番機
横中偵 尾尉	機長
一 中島正一	電探員
母藤島治	操縦員
志瀬厚一	偵察員
野村肇	電信員
	搭整員

行動圖



經過概要
九〇号
三三〇基地發進(キヤビチ)
〇三〇九〇号機ヲリハ本隊ト連絡良
好ナル本隊ヲリノ呼出ニハ不
應ニ後連絡杜絶セリ
未帰還

發受

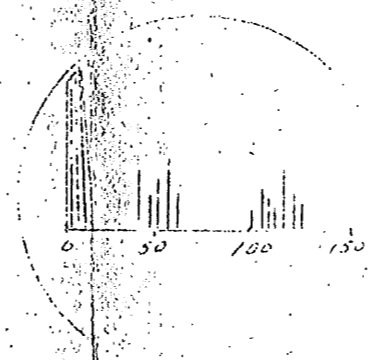
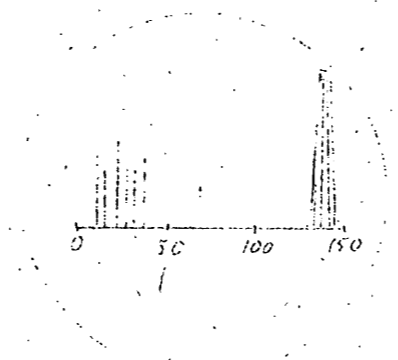
發九〇号機 宛九〇号東港
三日
天候不良 宗敵コトス
右廻リトス
〇〇三〇

昭和19年10月28日

索敵線

機番 機長 電探員

KEA 95
中尉 西田 廉平
上飛曹 山本 信雄



記事

第一高壓	5000 ~17000V	
第二高壓	////	////
高周波電流	////	////
交流電壓	100V	////
空中線	右方	右方
測定高度	////	////
測定距離	20~40Km	60~110Km
感度	3	2~4
測定時刻	2120	2330

24

1379

五令達報告等

發信日時

十月十日一二〇四

新竹航空基地

着信
(受報)

各鎮守使官
一三戰隊
GF
海護總司令部

令達報告

聯合艦隊電令作特五號

基地航空部隊捷一號及捷二號作戰警戒

十月十日一四〇六

第六基地航空部隊
指揮官

第六FGB
軍令部總長
海軍大臣
高野
佐鎮
海護總司令部
GF

六FGB電令作三〇号當面戰況ニ於テ六FGB
作戰要領左如シ

一當面敵情全貌ヲ明カスニ好機ハ敵機動部
隊ヲ連續攻撃シ敵ヲ滅ス

二各捷ヲ作戰命令協同作戰要領

(一)捷ニ于テ作戰既定方針ニ依リ決戦ス

(二)捷ニ于テ同時作戰ス捷一號作戰先ヅ南西

諸島方面敵機動部隊ヲイテ台灣方面來攻敵

機動部隊ヲ捕提撃滅ス然後菲島方面終

末決戦ヲ行フ

<p>十月十四日二三五</p> <p>聯合艦隊</p>	<p>伊五六 一航艦P 高雄基地 台南基地 台中基地</p>	<p>第一海上護衛隊 P</p>	<p>四、昨日海上着ノ一機ハ、四三〇東港ニ向ケテ發シ、電アリケル儘 消息不明 五、人員被害ナシ 六、飛行機現狀香港一機、三灶島 一機、東港。</p> <p>聯合艦隊電令作第三八九號 十五、台灣方面所ノ第一航艦隊兵力ヲ第六基地 地航空部隊指揮官ノ指揮下ニ入ル</p>
<p>十月十五日一九三七</p> <p>聯合艦隊 司令長官</p>	<p>一航艦 P 二航艦 P 聯合艦隊各P 十四聯空P 九〇一〇二 海護總司令部 大海空一部長 遊撃部隊P</p>	<p>本日、戦闘ニ於テ六FG B 航空撃滅戰索敵 攻撃(特ニW三AB、八ED、一四聯空、九〇一〇二、索敵 觸接ト攻撃部隊、薄暮夜間攻撃)及五FG B 索敵觸接ニ先制攻撃ハ見事ナリ、各部隊 指揮官ハ愈々兵力ヲ整理、奇手握シ及復敵ヲ 猛撃シ、之ヲ撃滅スベシ</p>	
<p>十月十六日二〇〇</p> <p>第一海上護衛隊 司令官</p>	<p>九〇一〇二 (東港基地) 海護總P 二航艦 P 第一海上護衛隊</p>	<p>今次台灣方面ニ來攻セル敵機動部隊ヲ九〇一 空入被隊ノ圍ニ索敵進攻シ、先リ敵部隊 ヲ探知捕捉之、撃滅シ、端緒ヲ切開セルハ 見事ナリ</p>	
<p>十月十六日一四〇</p> <p>聯合艦隊</p>	<p>海軍大臣 軍令部總長 各參謀長 各鎮守使各 GF各P 九〇一〇二 館山空 神電空 友那方面艦隊P 海護總部隊P</p>	<p>一、台灣及南西諸島方面所ノ九〇一〇二、九五三空 及神電空兵力ヲ、捷手作戰ニ因シ二航艦、指揮 下ニ入ル 但シ海上護衛ニ因シテ、關係部隊ト協議トシ、從 前指揮系統ニ依リ處理スベシ 二、前項指揮下ニ編入ノ時日ヲ十月十日附トス</p>	

<p>十月十六日一八四五 高雄基地</p>	<p>九〇一五五 二一航戰 P 丁攻撃 B 西聯空 P 一海護 P</p>	<p>六FG B電令作第六八號 九〇一五司令、本十六日夜準備出來決着進行 別指示、鷲鷹隊、三、理圍内索敵ヲ實施スベシ</p>
<p>十月十七日〇六四六 高警口</p>	<p>呂宋海峽部隊 司令官 再公方面特根 P</p>	<p>海護總電令作第六四號、依リ發動ス</p>
<p>十月十七日〇八三五 聯合艦隊 P</p>	<p>聯合艦隊各 P P 作戰關係 南東方面艦隊 P 海護總部隊各 P 支那方面艦隊 P 右鎮各警 P</p>	<p>捷一號作戰警戒 GF電令作第三五一號</p>
<p>十月十七日一一〇三 海護總隊 司令官</p>	<p>海護總部隊 各 P P 支那方面艦隊 各 P</p>	<p>GF B電令作第六四號、依リ「S」特作戦ヲ取止ム 捷一號作戰警戒令セシム</p>
<p>十月十七日一九 第六基地航空部隊 指揮官</p>	<p>九〇一五東港 一海護 P</p>	<p>六FG B電令作第七四號 九〇一五、十七日二〇、東港奇襲ヲ夜間索敵ヲ實施スベシ F九二四進出距離四五、理例程九、理</p>
<p>十月十八日一七三二 聯合艦隊 P</p>	<p>聯合艦隊各 P P 海護總部隊各 P 右鎮各警、各艦隊 支那方面艦隊各 P</p>	<p>捷一號作戰發動ス GF電令作第六六號</p>
<p>十月十八日二〇一二 第六基地航空部隊 指揮官</p>	<p>第六基地 航空部隊 W四 A B 戰鬥報着信艦 第三遊雲部隊 三五航戰</p>	<p>六FG B電令作第六八號 敵本十日「タクロ」方面上陸ヲ開始セリ 捷一號作戰發動ス 各部隊、連カニ既令ニ依リ台傍兵力、整備ヲ急ゲト共ニ 菲島進出準備ヲ急速ニスベシ 九〇一五、九三三空兵力、台傍及南西諸島、配備固有兵力 カヲ避退基地ヲ復帰ニテ、日以降一Bニ対シ、對 潛前踏索敵ヲ實施スベシ(詳細後令) 四、菲島ニ在リ、配備基地(捷第一期作戰、配備)左、面リトス ハ、基本配備基地第六基地航空隊固有兵力六FG B 命令作第一三三、通、第三航空戰隊、第四航空戰隊 兵力アンヘレス南、及テタルトルメン ハ、第二配備基地(敵制空權下ニ進出攻撃ヲ實施場合) 「サマリセリネ」「ルパン」「アエルト」「プリンセサ」「バタンガス」 使用(詳細後令)</p>

<p>十月二十三日一五五。 九一〇空 艦隊指揮官</p>	<p>海護總司令部 佐鎮 P 橫鎮 P 聯合艦隊 航空艦隊 九一〇空(東港)</p>	<p>海護總電令作第三七號。依九一〇空館山 九一〇飛行艇二機、指宿進出完了</p>
<p>十月二十七日一七一九 二五航戰 P</p>	<p>九一〇空 鹿屋空 新竹空 高雄空 佐鎮長官 第陸戰隊 P 九三航戰隊</p>	<p>明三〇日機動部隊本隊二対一ノ左ノ通警戒ヲ實施シ予定 概要ヲ通シ 一、整隊改三機、四三〇奔進索敵線基英小祿一六五度 一七五度一八五度進出距離五。深側程左折六。度 二、前踏整隊改三機。五三〇奔進索敵線一九五度 二。度進出距離三。五。深側程右折四五度 情況依リ爾後反復ス</p>
<p>十月二十四日〇九三二 第六基地航空部隊 指揮官</p>	<p>第六基地航空部隊 丁改隊本部 各 P</p>	<p>第六基地航空部隊電令作第九五號 一、在臺灣未移動兵力(飛行艇ヲ除ク)陸攻一七〇。 二、九一〇空飛行艇 全力一五〇。奔進左ノ索敵ヲ實施 ヲヤビテ移動セヨ。三機、F二八三。三進出距離五六。 六。四。三。理。殘余一機一六三。 三、陸攻、全力、東方敵空母攻撃後急進、 進出スベシ</p>
<p>十月二十七日一三三三 海上護衛總司令部</p>	<p>吳鎮 P 佐鎮 P 高野 P 一海護 P 聯合艦隊 P 二五航戰 P 九一〇空 四五三空 館山 P</p>	<p>海護總電令作第二六號 一、海護總司令部第三七號ニ依リ橫鎮司令長官及佐鎮 司令長官、任務ヲ解シ 二、第九一〇海軍航空部隊在指宿飛行艇、東港ニ又 ニ祿所在高雄進出予定陸攻、高雄ニ進出スベシ</p>
<p>十月二十七日一四二一 聯合艦隊 P</p>	<p>二航艦 P 高野 P 海護總司令部 佐鎮 P 九一〇空 九五三空 沖繩空 一海護 P 四海護 P 二五航戰 P 二航戰 P</p>	<p>9 F 電令作(第三八〇号) 聯合艦隊電令作特ニ号ニ依リ台灣及太平洋方面 所在九一〇空九五三空及沖繩空ニ対シ二航艦長官、 作戰指揮ヲ解シ</p>
<p>十月二十八日一四五八 九一〇空小祿</p>	<p>海護總司令部 佐鎮 P 九一〇空</p>	<p>海護總電令作第三七号因聯 九一〇空館山派遣隊改令力(五機)進出完了、</p>
<p>十月二十八日一九〇 九一〇空東港</p>	<p>海護總司令部 四三三空(指宿) 九一〇空(館山) 佐鎮 P</p>	<p>海護總電令作第三八六号ニ依リ在指宿飛行 艇二機東港ニ進出完了</p>

六、被害及損傷

所在	日時	任務	機種数	被害状況	戦況	未帰還
東港	十月十二日 一〇〇〇		九七式飛行機 二機	空襲時敵機一機、銃撃、空を焼失	地三整備員 七名	
馬公	十月十二日 〇九〇〇		九七式飛行機 二機	同	同	
東港	十月十三日 〇八〇〇		九七式飛行機 二機	同	同	
馬公	馬公空襲時 〇五一五頃	空中避退 日帰投	九七式飛行機 一機	馬公空襲後帰投 中敵機一機、銃撃		搭乗員 八名 (准士官以上一 下士官七)
東港	十月十四日 〇四〇〇		九七式飛行機 一機	空襲時敵機一機、銃撃、空を焼失		
東港海面	十月十五日 〇〇五〇 二三四五	索敵	九七式飛行機 二機	馬公空襲時敵機中敵機一機、銃撃、空を焼失		搭乗員 二三名 (准士官以上四 下士官五)
ギヤビテ	十月十五日 〇五五五	索敵	九七式飛行機 一機	帰投時着水、僚機二機、接触、水没、僚機一機、人員三名		
東港	十月十五日 〇一〇〇以後	索敵	九七式飛行機 一機	東港空襲時敵機一機、銃撃、空を焼失		搭乗員 二名 (准士官以上一 下士官一)
馬ニラ	十月十七日 〇三〇〇以後	索敵	九七式飛行機 一機	東港空襲時敵機一機、銃撃、空を焼失		搭乗員 一名 (准士官以上一 下士官一)

我が兵力、現状（十月二十九日現在）

機種
九七式飛行機

機数
四機

（四二機、館山ヨリ
三台本隊へ編入）

使用可能機数
三機

搭乗員組数
八組

七、功績略

八 參 考 戰 訓 所 見

(一) 偵察兵力、整備ニ就テ
哨戒索敵等ノ任務ニ從事スル機種ニハ總テ電探ヲ裝備シ之ガ全幅活用ヲ
圖ルヲ要ス

從來ノ哨戒索敵ノ大部分ハ電探ヲ有セザル為一般ニ視界ヲ基礎トシテ計
画シテハモ計画通りノ視界ヲ得ラルコトハ概ネ少ク且兵力少キ為索敵線ノ構
成ハ益疎トナル傾向アリ 然ルニ電探ヲ全幅活用セバコシトモ雨モ雲モ或ハ
夜間モ視界ノ狭少ハ何等問題トスルニ足ラズ

今次捷報作戰ニ於テ使用時數概ネ一〇〇時間以上、巡航速力二五節内
外ノ老朽セル劣性能ノ九七式飛行艇ヲ以テ克ク夜間索敵ニ成功セル哨戒索敵
ニ於ケル電探ノ重要性ヲ實證シテ餘スナシ

晝間索敵ニ於テモ高速優性能機ヲ以テ電探ニ依リ搜索シツ電探ニ感度アラ
バ爾後其優性能ニテ迎接目視ニ依リ偵察ヲ實施セハ敵兵力ノ全貌ヲ明カニス
ルハサシテ難事ナラザルベク 偵察力ノ躍進的向上ヲ期シ得ルモノト認ム尚

電探ハ故障多ク實用的ナラズトノ觀念ハ一擲スルヲ要ス 幹部ハ積極的ニ指
導セバ新兵器トシテ充分其ノ全能ヲ發揮シ得

(二) 通信ニ就テ

(1) 基地通信系ニ依リ重要電報ヲ處理スル場合ノ電波選擇、通信指揮ニ就テ
作戰命令或ハ重要ナル敵情等特ニ速達ヲ要スル電報ハ其ノ通達費消

時ヲ最少限度ニ短縮スルヲ要アリ 之ガ為發信ヲ命ズル司令部等ニ於テ且通ノ電
波アルモ拘ル通信隊(三)通高通過由ノ通信系ニ依リシ為 重要ナル敵情或ハ
夜間索敵ニ關スル命令傳達シテ時機ヲ失シ作戰ニ支障ヲ來セルト極メテ大
ナリキ 基地通信力不足ノ現狀ニ於テ通信隊經由ハ或程度已ハ得ザルベキ
モ通信隊ハ又高度ヲ指定ヲ附セル重要信山積シテ作戰命令等ノホス
要電ニ後廻シナルコトナキニシモアラズ 從ツテ基地通信力ガ充分ナル域ニ達ス

ル迄ハ電報發信ニ際シ特ニ速達スル電波ヲ使用スルヲ要ス(單ニ指定ミツ附シ
テ發信ト命ズルトキハトエ官兵ハ狀況不明ノ為電波ノ選定不適切ナルコトナキ
ヤヲ懼ル)

(2) 索敵ニ使用スル電波ノ選擇ニ就テ

臺灣沖ノ航空戦中 夜間索敵ニ使用セル電波五三三七五K.C.ハ毎回〇三三〇頃ヨリ〇六〇〇頃迄通信狀況極ク不良トナリ東港基地飛行機共電信機全然異狀ナキニ通信不良トナリタリ

電波ノ傳播狀況(地域ト時間ト日出没ト關係等)ヲ事前ニ克ク研究シ置キ以テ使用電波ノ選擇ヲ適切ナラシムルヲ要ス

(3) 暗探書ノ信文内容ニ就テ

電探索敵ヲ實スル如クナリタル現狀ニ於テハ之ニ應ズル通信文ヲ必要トス敵ヲ探知セル場合反射波ハ單條モノ數件(三三條)或ハ束狀(五以上)ノモノ等種々雜多ニシテ其ノ幅ハ今次ノ夜間索敵ニ於テ機動部隊ノ群ト推定サルモノガ概ネ一。料程度ニシテ最大四。料ニ及ベルモノアリ 從ツテ地上ニ此ノ狀況カ直ニ判明スル如キ信文内容或ハ鉛筆記入ヲ必要トス

(三) 飛行機ノ使用法ニ裝備ニ就テ

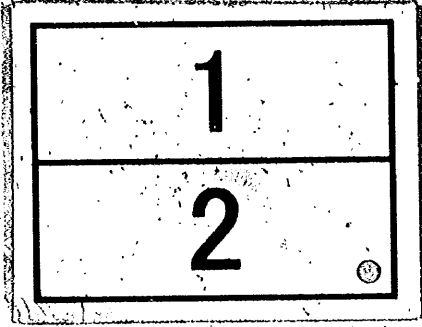
性能鈍重ナル為晝間索敵ハ不適當ナルモ行動力優大ナルヲ以テ與ノ暗夜或ハ天候特ニ視界不良ナル場合ニ於テ其ノ特徴ヲ遺憾ナク發揮シ得

月夜ニ於テハ満月ニ近キ程敵機討破トシ空戦が比較的晝間場合ニ近似スルモノ如ク今次捷探作戦ニ於テハ月明トシ從ヒ逐時被害ヲ増加セリ 極力新月ノ前後ニ使用スル方有效ナリ

(2) 飛行機ノ搭載カド現用飛行機電探性能ニ鑑ミ飛行機搭載ノ遂探每機セバ索敵實施上極メテ有利ナリ

(終)

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	索引計画
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

